DJ-DPX1 /X2 Clone Utility 取扱説明書

DJ-DPX1/X2 Clone Utility はフリーソフトウエアです。ソフトウエアを利用するにあたってユーザー様（以下、利用者）は以下の事項をご理解、ご同意いただいたものとさせていただきます。
・本ソフトウエア（以下ソフト）の著作権は、アルインコ株式会社に帰属します。
・ソフトは「フリーソフトウエア」として提供し、社会的な「フリーソフトウエア」の原則に準拠するものとします。プログラムの内容を人間が解釈できるような形に変換すること、記述されている版権や著作権表示を改変すること、記述内容を許可なく書き換えること、プログラムを悪用したり、悪意ある形で配布したりすることは固く禁じられています。
・弊社では善意をもってソフトを開発しましたが、使用に際して利用者に万一損害（金銭的・物的損害、使用されるパソコンにインストールされた他のソフトウエアへの不具合等）が発生しても、弊社は一切の責任を負わないものとさせていただきます。

・DJ-DPX1/X2 無線機本体（以下本体）はこのソフトなしでも全ての基本操作が可能です。このソフトでしか操作できない部分は、販売店が業務ユーザーの利便性を向上させるためのものであって、編集ができないからと言って一般ユーザーの利便性を侵害するものではありません。このため、ソフト操作についての個別サポートは一切しておりません。無線機への読み書き以外の操作はケーブルなしで全て行うことができるので、まずインストールして実際に操作したうえでご判断ください。お使いになるにはパソコンの基本入力操作以外に、コントロールパネルにあるデバイスマネージャーを見る、場合によっては自分でドライバーソフトを外部のサイトからダウンロードしてインストールする、データの保存と読み出しができる、無線機の機能が理解できる、程度の知識が必要になります。操作できなかった場合でも、別売 PC 接続ケーブルの返品はできません。
・利用者は、ソフトをメディアに入れて持ち運び、また無償であれば第三者に配布することができます。但し書籍やウエブサイトなどを通じて不特定多数への配布を目的とする場合は、事前にアルインコ（株）電子事業部にご連絡ください。

１． ソフトの概要

ソフトを使うと、手動で行う設定をＰＣの画面上で行い、その設定内容を保存したり、別の個体にクローンしたりすることができます。またプリセットチャンネルの拡張や設定の変更、ユーザーにアクセスさせたくないセットモード機能を隠すなど、無線機側では設定できない操作が可能になります。まず製品に付属する取扱説明書を読みながら一通り本体の操作を行い、どのような機能なのかあらかじめ理解してからお使いください。ここでは各機能についての個別の説明はしていません。

このソフトが対応する本体には将来、ファームウエアの更新がなされる可能性があります。その場合はソフトも更新される可能性がありますが、古いファームウエアでは更新されたソフトはお使いになれません。ファームウエア更新は、アフターサービスとして往復運賃のみ実費をご負担いただければ無償でご提供します。尚、製品不良を解消するための重要な更新でない限り、更新を告知しないことがあります。

【ソフトを使うために必要なもの】

・Windows 7 / 8 / 10 を搭載したパソコン

※ 軽い単機能ソフトですからＣＰＵやメモリーに特別な指定はありません。ＸＰ以前 のＯＳでは使えません。

・接続ケーブル ERW-23 又は ERW-7 ＋ EDS-14 プラグ変換ケーブル

※ ERW-23/7 は説明書にしたがって事前にドライバーソフトをインストールしておいてください。（WINDOWS はマイクロソフト社の商標です。 ）

２．ソフトのインストール、起動と初期設定

※ インストールとアンインストール

弊社ＨＰより「DJ-DPX1_DPX2 writer ver.***」zip（ *** の部分にはバージョン番号に相当する数字が入ります。）を任意の場所に解凍します。フォルダにある setup.exe を実行して、指示にしたがって管理者権限でインストールしてください。 アンインストールもウインドウズの「プログラムと機能」メニューから、同名のファイルを選んで通常のソフト同様に行えます。ソフトの更新の際は、まず古いソフトを削除してから新しいものをインストールしてください。

※ 接続 ：必ずソフトを起動する前に行ってください。本体の電源は切ってください。

・ERW-23、または EDS-14 のねじ込みプラグを本体上部のイヤホンマイク用ジャックに、しっかり止まるまでねじ込みます。USB プラグをパソコンの USB 端子に接続し、ERW-7 の場合はΦ3.5mm ステレオプラグを、ケーブルに付属の変換アダプタを使用して EDS14 の小さいほう(Φ2.5mm)のジャックに接続します。

・本体の電源を入れます。 「イヤホンが断線しています」と３回アナウンスしますが無視します。

【ご注意】ケーブル接続は必ずソフト起動前に行ってください。ソフトは起動時にＵＳＢデバイスが接続されたＣＯＭポートをスキャンして、選択肢として表示します。起動時にケーブル接続していないと正しいポートが選択できません。

※ ソフトの起動
デスクトップに作成されるショートカットアイコンをダブルクリックします。ソフトが起動します。ソフトの画面右側の DPX1/DPX2 チェックサークルで、該当する機種を選択します。

※ 初期設定
COM ポートの設定を行います。　Windows のコントロールパネル内にあるデバイスマネージャーを開いて、「ポート（COM と LPT）」の項目にある「USB Serial Port」の後にある COM　＊ の番号を控えます。ソフトの画面右端にある[COM1]のプルダウンで同じポート番号を選択します。USB Serial Port がデバイスマネージャーに表示されないときは、接続ケーブル用のドライバーが正しくインストールされていません 。 以下のページにアクセスして、ドライバーソフトをインストールしてください。
http://www.alinco.co.jp/division/electron/pdf/ERW-7driver+.pdf

本体の電源が入り、接続ケーブルが正しく接続され、ソフトが起動していることを確認します。

３．データの読み書きと保存

※ 本体のデータをソフトに読み込む
画面の右端、ＣＯＭ設定の下にある「無線機から設定を読みだす」をクリックします。読み込みが始まり、ソフトの右上の緑のプログレスバーで進行状態が確認できます。

・「１２．接客モード」がオフ以外の状態の時、接客モード関連設定が赤く表示されます。
・「７．秘話コード」でオフ以外の状態の時、「８．秘話タイプ」と共に緑で表示されます。
・「プリセットチャンネルの設定」タブの右下に、プリセットまたはチャンネルモード、いずれか選択されているほうの表示が出ます。「セットモード・他」タブの「運用モード」項目で無線機起動時の運用モードを選択できます。

※ データを編集する
・「プリセットチャンネルの設定」タブは、プリセットモード時のチャンネルデータが編集できます。
・「セットモード・他」タブで編集したセットモード項目はプリセット、通常のチャンネルモードにかかわらず、すべて共通で反映されます。ただしプリセットモード時には、ユーザーコード・秘話コード・秘話タイプ・VOX の設定は、「プリセットチャンネルの設定」タブの表の値が適用されます。

・従来機種でチャンネルごとに個別で割り当てできていたＵＣ，秘話、強化秘話は本機ではプリセットモードで同じ設定が可能になるため、プリセットモードをお使いください。通常のチャンネルモードではチャンネル個別にＵＣや秘話を使う・使わない、の設定はできません。
・「セットモード・他」タブの項目をまとめてチェックする・チェックを外す、は同タブ右下の「チェックボックスを一括で ON/OFF」のボタンをお使いください。チェックを外して書き込んだ項目は、無線機本体のセットモード項目として現れません。
・「プリセットチャンネルの設定」タブの「すべてのチャンネルのデータを一括変更する」をクリックすると５０ｃｈすべての設定値が同じになります。全体を大まかに同様の設定にして、部分的に編集するような使い方に便利です。
・運用モード、プリセットチャンネル、通常チャンネル、音量の各項目は初回起動時のパラメータです。実際に運用され、チャンネルモードや音量などを変えて本体の電源を切れば、次回起動時はソフトの値でなく、本体側で変更した値で起動します。
・キーロック状態、には「解除不可」の項目が有り、十字キーを押しての操作では解除できないキーロックを設定できます。但し本体をリセットするとこのキーロックは解除されます。
・リセット動作、で「禁止する」を選ぶと十字キーを押してのリセットはできなくなります。従い上記の解除不可キーロックも解除できなくなります。
・標準セットモード、詳細セットモードの各項目は、「禁止する」を選ぶとキー操作してもセットモード自体が出てこなくなります。但し、ソフトで設定したセットモードの各項目の設定値は有効になっています。
・セットモード項目の内容でご不明な点は、ツールバーのヘルプからリンクされた弊社ＨＰに掲載のＤＰＸ１取扱説明書を参照してください。DPX2 の説明書は本体裏の QR コードから PDF 説明書がご覧になれますが、ワイヤレスマイク関連以外、操作は共通です。
・Bluetooth タブでは、既にペアリングされている機器を一覧表示したり、一覧表示から機器を指定して接続したり、指定した機器のペアリング情報を削除したりできます。クリアボタンは、画面に表示されている一覧表示をクリアするだけであり、ペアリング情報を削除するわけではありません。

※ 編集したデータを書き込む

ソフトのツールバーメニュー「無線機との通信」または画面右の「無線機に設定を書き込む」アイコンを選んでクリックすると書き込みが始まり、ソフトの右上の緑のプログレスバーで進行状態が確認できます。書き込みが終わると自動的に本体が再起動して「イヤホンが断線しています」と３回アナウンスしますが無視します。新しい設定が書き込まれています。

※ データを保存する、開く
ソフト左上の「ファイル」から「保存」を選んで任意の名前を付けて、パソコン上の任意の場所に保存します。拡張子.X1 のファイルが生成されます。同じく「ファイル」の「開く」から任意の.X1 ファイルを選んで「開く」をクリックするとそのデータをソフトに取り込んで、書き込みや編集ができます。

※ 編集画面と無線機を初期化する
ソフトの全ての設定項目を初期状態に戻したいときは、以下のいずれかを行います。
１：ソフトを新たに起動したばかりの初期状態を「初期値.X1」のような名前で保存しておき、それを読み込む。
２：ソフト右上隅のＸをクリックして終了、改めてソフトを起動する。その状態を読み込む。
これらの状態を書き込むと本体側も初期化できます。多数の個体を完全に初期化したいときはケーブルクローンよりも、初期化した個体をマスターにしてエアクローンするほうが便利です。

※ 終了する
ソフト右上隅のＸをクリックして終了します。保存していないデータは失われます。 終了する際に「データを保存しますか」のような警告は出ませんのでご注意ください。 本体の電源を切り、ケーブルを外します。

４．エラーについて

無線機本体の電源を入れていない、ＣＯＭ番号が合っていない、PC ケーブル不良（切れている、Φ２．５ｍｍ側に正しく装着されていない、変換プラグ不良、しっかりねじ込んでいない)、ドライバーソフトまたはＯＳが不適合、等のときはＥＲＲＯＲが表示されます。単純なソフトなのでこれらをチェックしても動作しないときは無線機側のジャックの部品不良の可能性があります。イヤホンマイクなどが正しく使えるかチェックしてください。

以上

アルインコ（株）電子事業部